

令和3年度在宅ケア認定看護師教育課程 研修生

吉本 富美子（大阪府：医療法人岩本診療所 訪問看護ステーション）

コロナ禍によって在宅医療の重要性が増し、訪問看護師の更なる活躍が期待される中、改めて自己研磨していく必要性を強く感じ、在宅ケア認定看護師研修を受講するに至りました。

現在は毎日3～8時間、eラーニングで自己学習しそれを職場で振り返る日々を送っています。仕事と学習の両立は大変ですが、仕事があることで振り返る機会ができ“大変なことばかりでもない”と楽しんでいる自分がいます。そして、私が学習することによって地域の看護師が学習することへの動機づけや刺激となっている印象もあり、今後さらにそれが繋がっていってくればと期待を膨らませる日々でもあります。コロナ禍の中、看護師として学業優先で良いのかと感じることも少なくありません。しかし、来年には在宅ケア特定認定看護師として、在宅医や他職種と協働しながら何倍もの力となって地域や自ステーションへ貢献できることを想像し、前向きに1年間頑張っていきたいと思っています。



吉本富美子研修生